

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310011016	英語 English	加藤みゆき		共通	1	選択	1前期

科目の概要

本科目は専門的な知識と技能を身に付け、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭として、人々の生活を子育ての面から支援できる人材を育成する科目に位置づけられる。英語によるコミュニケーションの土台となる英文法の最重要な基礎知識を学び、実際に「聞く・話す・書く・読む」活動を通して、得た文法知識を活用しながら定着を目指す。

学修内容	到達目標
① 基礎的な英文法を身に付け、語彙力を高める。 ② 英語のリスニング力を高める。 ③ 英語のスピーキング力を高める。 ④ 英語のライティング力を高める。 ⑤ 英語のリーディング力を高める。	① 基礎的な英文法と語彙を身に付け英語力を強化する。 ② 英語を聞き取ることができる。 ③ 英語で自己表現ができる。 ④ 語順やスペリング、表記等に配慮して正しく英文を書くことができる。 ⑤ まとまった英文を読み、大意をつかむことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	指示に関わらず、自ら学修を進めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難に直面しても諦めずに最後まで目標達成に向けて努力を続けられる。
考え抜く力	課題発見力	常に自らの学修を振り返り、課題を見つけることができる。自己のみでなく集団の学習に資するために課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	発見した課題を解決する方法を創意工夫することができる。
チームで働く力	発信力	自らの意見を相手に配慮して伝える努力、工夫をすることができる。臆することなく英語による発話をし、自らのみならず集団の学びに貢献することができる。
	傾聴力	常に相手を理解しようとする気持ちで、耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 提出物を期限厳守で必ず提出することができる。 授業でのマナー、ルールを守り、ペアワークやグループワークで参加者全員が最大限の学びが得られるように自ら判断して協力的に行動できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

Grammar Plus 〈15Unit Edition〉 Andrew E. Bennett / Toru Komiya 南雲堂
配布資料

他科目との関連、資格との関連

「英語」は外国語分野の基礎となる科目で、英文法の基礎知識を身に付け、獲得した知識・技術を「英会話」で活用する。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 予習では、次時の授業で学習する単元の練習問題に必ず取り組んでください。また指示に関わらず、授業参加に必要な語彙表現を調べてください。 英語を身に付けるには、長期に渡る不断的努力が必要です。すぐに成果が見られなくても努力を続ける態度を評価します。成果が感じられなくても諦めずに、前向きに取り組んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中し、居眠り、おしゃべり、よそ事をしない。 授業に参加していないと判断した場合は、欠席扱いとなります。 テキストは必ず用意すること。電子辞書持参を推奨する。 欠席等でプリントがない場合は、友達にコピーさせてもらうか研究室に取りに来るなど、事前に手に入れて授業に臨むこと。 20分以上の遅刻は欠席扱い、3回の遅刻は1回の欠席扱いとなります。 遅刻した時は、必ず理由を説明してから着席すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	30	①	✓	
				②		
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S) 授業中の活動、発言が積極的で受講態度が極めて良好である。 小テスト、レポート、成果発表で90%以上の成果を上げられる。</p> <p>(A) 授業中の活動、発言が積極的で極めて良好である。 小テスト、レポート、成果発表80%以上の成果を上げられる。</p>	<p>(B) 受講態度がよく、減点項目がない。 小テスト、レポート、成果発表で極めて70%以上の成果を上げられる。</p> <p>(C) 受講態度がよく、減点項目がない。 小テスト、レポート、成果発表で60%以上の成果を上げられる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (授業の進め方) 講義：英語、英語学習 について知る。 4技能の訓練：英語に よる自己紹介をする。	1. 講義 2. 演習	質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 指定箇所の復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	4技能の訓練 Unit.1 現在時制	講義、演習、ペアまたはグループワーク 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	4技能の訓練 Unit.2 過去時制	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	4技能の訓練 Unit.3 代名詞	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	4技能の訓練 Unit.5 助動詞	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	4技能の訓練 Unit.10 動名詞	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	4技能の訓練 Unit.6 未来時制	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	4技能の訓練 Unit.8 比較	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	4技能の訓練 Unit.15 現在完了形	講義、演習、ペアまたはグループワーク、小テスト 1. 文法知識習得 2. 演習(文法) 3. スキル別演習 (Listening・Speaking・Writing・Reading)	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。	(予習) 指定箇所の予習 (復習) 小テストに向けて復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	4技能の訓練 総復習とスピーチ原稿準備 必要語彙表現收拾	講義、演習、小テスト	小テストに得点できる。 質問に答えられる。 英語を使って活動できる。 スピーチ発表に向けて自ら積極的に準備ができる。	(予習) スピーチ原稿作成に必要な語彙、文法の予習 (復習) スピーチ内容精査と必要な語彙、文法の習得	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	スピーチ原稿作成 (1)	講義、演習	英語を使って活動できる。 スピーチ発表に向けて、自ら積極的に準備ができる。	(予習) スピーチ原稿作成に必要な語彙、文法の予習 (復習) スピーチ内容精査と必要な語彙、文法の習得	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	4技能の訓練 スピーチ原稿作成 (2) ペアまたはグループで原稿を読み、意見交換しながらより良いものに仕上げる。	講義、演習、ペアまたはグループワーク	英語を使って活動できる。 スピーチ発表に向けて復習し、自ら積極的に準備ができる。	(予習) スピーチ原稿作成に必要な語彙、文法の予習、発音練習 (復習) スピーチ原稿の推敲、正書	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	4技能の訓練 スピーチ原稿作成 (3)と発表に向けて練習(ペアまたはグループワーク)	講義、演習、ペアまたはグループワーク	英語を使って活動できる。 スピーチ発表に向けて復習し、自ら積極的に準備ができる。	(予習) スピーチ発表の練習 (復習) スピーチ内容の精査と必要な語彙、文法の習得	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	4技能の訓練 スピーチ発表、やり取り、振り返り	講義、発表、演習、ペアまたはグループワーク	英語を使って活動できる。 スピーチ発表の到達目標を達成できるよう努力する。	(予習) スピーチ発表の練習 (復習) スピーチを振り返り課題と解決策を見つける。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	4技能の訓練 スピーチ発表、やり取り、振り返り	講義、発表、演習、ペアまたはグループワーク	英語を使って活動できる。 スピーチ発表の到達目標を達成できるよう努力する。	(予習) スピーチ発表の練習 (復習) スピーチを振り返り課題と解決策を見つける	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力